

日	月	火	水	木	金	土
開館時間 平日・9:30~19:00 土・日・祝日・9:30~17:00 休館日・毎月月曜日		1	2 ☺ 4じ~おはすい	3	4	5 ☺ 10:30 夏のおはなし会 3じ~おはどん
10:30 夏のおはなし会 2日め	6	7 休館日	8	9 ☺ 4じ おはすい	10	11
13	14 休館日	15	16 ☺ 4じ~おはすい 7/23最終日	17	18	19 ☺ 3じ~ おはどん
20	21 休館日	22	23 ☺ 11じ~おはすい 4じ~おはすい 7/23最終日	24	25	26 ☺ 3じ~ おはどん
27	28 休館日	29	30 ☺ 4じ おはすい スタンプラリー最終日	31	9/1	9/2 3じ~ おはどん

8月5日(土) 10:20
6日(日) ~11:20

なつのおはなし会

におでかけする。

5日 ぼくのはんじん 6日 ふたりのあひだ
やさしいおはなし ライオン狩り
大きな木がほしい おはなしかどえうた

スタンプも おしてもらって
ごきげん♡うたをうたう

**なつやすみ
としよかん
すごろく**

自由研究の本をやって
見つけて
3マス進む

スタート

夏休みの図書館を
120%楽しむために
スタート!

休館日の
月曜日図書館
に来てしまい
1回休み

**おはなし
ポケットメンバー
おすすめ本コーナー**

メチャおもしろい絵本を
みつける。うれしくて
スキップ。1マス進む

絵本クイズ

にちようせんしてみる。
おすかしくて。2マス戻って
ゆっくり考える

ゴッポル!

おはどんで
なつやすみおはなし会
スタンプラリーの
スタンプ3つめおしてもらい
プレゼントを
もらう!

「やったあ!」と
ジャンプする。

おはなし会のごあんない

おはなし水曜日 おは水 ☺	おはなしちび曜日 おはちび ☺☺☺	おはなし土曜日 おはどん ☺
3じ4じ ~4じ30分	3じぜん 11じ ~11じ30分	3じ3じ ~3じ30分
絵本 紙いばい中じ 第3水曜日 (は昔語り)	0~1才向けの おはなし会。 わらべうたや手あそび 絵本などの たのしい時間	きせつの おはなしなどを 絵本や 紙いばいで

*おはなしは1才のえほんコーナーでお気軽にとらうと

館長の



こども室の本棚から



夏休み真っ盛り。図書館にもお客さんがいっぱいです。読みたい本を借りる方。自由研究のための調べものをする方。新聞を読む方。勉強をする方。その目的は、様々ですが、大勢の方に来ていただいて、うれしいかぎりです。

今回紹介するのは、「かたあしのひよこ」(水谷章三作 いたうひろし絵 ほるぷ出版 1992 年刊) スペインの昔話です。ここ最近、この絵本を子どもたちに3回読む機会がありましたが、どの場所でも、子どもたちの集中力に驚かされました。子どもたちの眼は真剣そのもの、まさに昔話の力を感じます。みんな「ひよこ」になって冒険しているのだなあ。と思います。

主人公は、金のあしのひよこ。おじいさん、おばあさんに大事に育てられていたのですが、ある時、王様に金の足を一本取られてしまいます。しばらくして、少し大きくなったひよこは、王様のお城に片足とりもどしに出かけていきます。すると、途中でおおかみに会います。この場面で、子どもたちは、きつと「ひよこが食べられちゃう！」と思うと思うの



「かたあしのひよこ」
水谷章三 文
いたうひろし 絵
ほるぷ出版
1992年

ですが、食べられることはなく、いっしょにお城に向かいます。ところが、ところがです。おおかみときたら、一日歩くと「ふう、つかれた。もうあるけない。ふう」とか言うのです。しかも、「しかたがない。」と言ってひよこは、おおかみをくちばしでつまんで、こっくと飲み込んでしまいます。その後に出会うライオンも川も、こっくと飲み込みます。

とても、絵にするのが難しいと思われるシチュエーションなのですが、絵を描いているいたうひろしさんはすごいです。子どもたちは、その場面の絵を見て、すごく驚きながらも、少しの違和感もなく次の場面に進んでいきます。

昔話は、耳で聞いて楽しむものなので、大きいものはとてつもなく大きく、美しいものは見たことも無いほどに美しく、その大きさや美しさは、想像の中にあるのです。この絵本は、想像の中にこそある場面を絵にして、小さな子どもたちをおはなしの中に連れて行ってくれる絵本だと思います。

どうぞ、手に取って子どもたちと楽しんでみてください。



「まめたろう」
東京子ども図書館
「愛蔵版おはなしのろうそく10」内
イランの昔話
小林いづみ 訳

☆おはなしポケットメンバーのおすすめ本☆

『たべたの だあれ』五味太郎 文化出版局 1977年



“さくらんぼ たべたの だあれ”の次のページには動物の絵。よくみると、食べた動物がわかるようになっています。大人と同じものを食べ、動物も少しわかってきた子どもさんと一緒に楽しんで欲しいです。

私のお気にいりは“かくざとう たべたの だあれ”です。

『きんぎょが にげた』五味太郎
福音館書店 1977年

2冊目も五味太郎さんの本。きんぎょ鉢

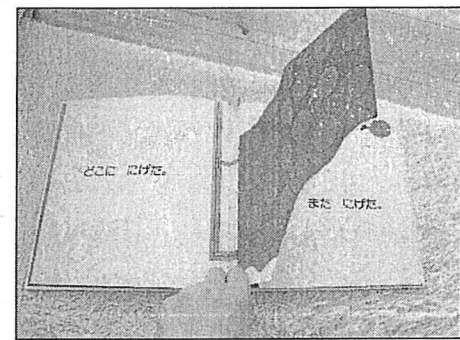
から逃げたきんぎょが、家の中でかくれんぼ。カーテン、おもちゃ箱、台所…どこにきんぎょが逃げたのか追いかけていくのは楽しいもの。色鮮やかだから子どもも大人も楽しめます。



どちらも子どもが好きな『ミック』や『ウォーリーをさがせ!』の乳幼児版です。身近にあるものがヒントになっているので、1歳くらいから一緒に読んであげられます。

ちなみに私の手元にある本はたくさん読んでか、大好きだったのかわかりませんが、ページがびりびりです。右が実際の本です。

自分が子どもの頃に大好きだった本を「この本、ママ・パパが小さい頃読んでたよ」と手渡してあげるのも素敵なプレゼントだと思います。私もこの本を残してくれていた母に感謝です。



*****おはなしポケット さとりん

◎ わらべうたうたってみよう ◎

♪ ももやももや ♪ じふら じふら

ハンカチ、タオルなどの布をもって せんたくのまねをします。

♪ ももやももや ながいははやい

♪ せんたくすれば
きものがぬれる

♪ アー ドッコイショ!



あらったり



ほしたり



た=たんたり



腰をのぼす